

令和8年度 産学連携スタートアップ支援事業補助金採択企業一覧

(単位:円)

順位	企業名	事業名	概要	連携する大学	交付決定額
1	株式会社ビズジーン (箕面市今宮3丁目23-15)	伴侶動物にやさしい歯周病リスク迅速検査キットの開発	大阪大学産業技術研究所の黒田教授(検出用でデバイス、各種センサー開発の権威)の技術と知識を導入し、自社のペプチド合成技術、微生物の検出及び解析技術を組み合わせることでペット歯周病の主な原因菌であるPg菌およびTd菌に注目し、歯周病菌のその場検査技術による未病対策及び治療対策サービスの実施を目指す。	大阪大学 産業科学研究所	2,403,000
2	バイオメディカ・ソリューション株式会社 (茨木市彩都あさぎ7丁目7-15)	ヒトiPS細胞を起点とした機能増強型細胞状態の成立可能性検討と最適培養条件の探索	バンク化可能な患者本人以外のヒト由来の細胞である同種細胞としてヒトiPS細胞を基盤とし、血管新生機能を中心とした細胞治療効果を最大化した機能増強型細胞「Booster細胞(仮称)」の創出を目指す。	大阪大学 ヒューマン・メタバース 疾患研究拠点	2,500,000
3	株式会社ハカレル (茨木市彩都あさぎ七丁目7番18号)	リキッドバイオプシによる新規卵巣がん診断法の開発	自社の抗体開発技術およびEV直接定量技術と、神戸大学が有する腔分泌液EV解析技術と臨床コホートを融合させることで、体液中のがん由来EV表面抗原CD24を高感度に検出する新しいサンドイッチELISA系の構築を目指す。	神戸大学 医学部附属病院 産婦人科	2,501,000
3	株式会社f-pzl (茨木市五十鈴町5-26)	エフパズルを用いた手指・上肢リハビリテーションの有効性研究	大阪公立大学との産学連携により、自社の現行製品を用いた臨床・神経生理データの収集を行い、リハビリ各段階(急性期・回復期・生活期)に最適な介入プログラムを化学的に確立する。さらに得られたエビデンスをもとにピースのサイズ・穴径・重量・形状・テクスチャ等をリハビリに最適化した新製品を開発し、市場に新たなカテゴリーの創出を目指す。	大阪公立大学 医学部 リハビリテーション科 URAセンター	1,363,000
					8,767,000